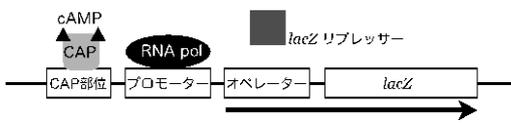


整理番号	HT27015	分野	生物、医歯薬学	キーワード: 遺伝子導入
------	---------	----	---------	--------------

岩手大学

オペロン説～遺伝子の調節メカニズムを理解しよう～

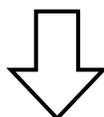
先生(代表者)	荒木 功人 (あらかい さと) 工学部・准教授			
自己紹介	私たちの体の中で最も複雑な構造物である脳が、受精卵からどのように出来てくるかを研究しています。趣味は走ること、推理小説、ロック。中学から大学まで陸上部に所属し、今でも時間をひねり出して走っています。ベストタイムは800mが1分59秒4、1500mが4分7秒。			
開催日時・主な募集対象	平成27年7月25日(土) ～7月26日(日)	(対象)	高校生	(人数) 20名
集合場所・時間	岩手大学工学部総合教育研究棟 (未来物質工学系) 1階玄関	(集合時間)	1日目 12:30 2日目 10:00	
開催会場 (集合場所)	岩手大学工学部 住所: 〒020-8551 岩手県盛岡市上田4-3-5 (工学部キャンパス) アクセスマップ: http://www.iwate-u.ac.jp/campusannai/index.shtml			
内 容				
<p>皆さんの体は、多数の遺伝子が巧妙に調節され、協調して働くことにより成長し、維持されます。このような遺伝子が調節される仕組みを初めて明らかにしたのが、フランソワ・ジャコブとジャック・モノーです。ジャコブは第二次大戦中、自由フランス軍の軍医として闘い、モノーはフランス国内で反ナチのレジスタンスとして活動しました。戦後、彼らは大腸菌をモデルシステムとして遺伝子の調節メカニズムを研究し、オペロン説として発表しました(1965年ノーベル生理学医学賞受賞)。このような大腸菌における遺伝子調節の仕組みの理解は、ヒトを含む高等生物における遺伝子調節の仕組みを理解するための重要な基礎となりました。本プログラムでは、参加者の皆さんに大腸菌への遺伝子導入を通じてオペロン説を理解して頂こうと計画しています。</p>				
				
スケジュール			持 ち 物	
1日目 [7月25日(土)] 12:30-13:00 受付 13:00-13:30 オリエンテーション (挨拶、プログラム紹介、科研費の説明) 13:30-13:40 休憩 13:40-14:20 講義「オペロンとは何か」(実験の概要説明も兼ねて) 14:20-14:30 休憩 14:30-16:00 実験【ライゲーションと形質転換】(途中、随時休憩) 16:00 解散 2日目 [7月26日(日)] 10:00-10:15 受付 10:15-11:15 実験【コロニーの観察と形質転換効率の計算】(途中、随時休憩) 11:15-12:00 討論とまとめ 12:00-12:30 修了式(アンケート記入、未来博士号授与) 12:30 終了・解散			筆記用具、上履き、弁当・飲み物(土曜日の昼は大学生協の食堂が開いていますが、日曜日はお休みです。なお、すぐ近くにコンビニがあります)	
			特 記 事 項	
			なし	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	工学部 荒木 功人（あらき いさと）
住所：	〒020-8551 岩手県盛岡市上田4-3-5
TEL 番号：	019-621-6909
FAX 番号：	019-621-6909
E-mail：	iaraki@iwate-u.ac.jp
申込締切日：	平成27年7月10日（金）

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
荒木 功人	H11	奨励研究(A)	11780528	中脳発生における <i>Engrailed</i> の標的及び下流遺伝子の探索とその解析



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。